

参考文献・参照 HP

- ・間場寿一編, 1998, 『地方文化の社会学』世界思想社.
- ・青木聡子, 2013, 『ドイツにおける原子力施設反対運動の展開 環境志向型社会へのイニシアティブ』ミネルヴァ書房.
- ・青島矢一, 2014, 「経営学者が考える環境・エネルギー問題 第2回 太陽光発電の普及(1) 固定価格買い取り制度の影響」『書斎の窓』636:50-54.
- ・青島矢一, 2015a, 「経営学者が考える環境・エネルギー問題 第3回 太陽光発電の普及(2) 中国太陽電池産業急成長のメカニズムⅠ」『書斎の窓』637:54-58.
- ・青島矢一, 2015b, 「経営学者が考える環境・エネルギー問題 第4回 太陽光発電の普及(3) 中国太陽電池産業急成長のメカニズムⅡ」『書斎の窓』637:54-58.
- ・天笠啓祐, 2007, 『バイオ燃料 畑でつくるエネルギー』コモンズ.
- ・有森志郎, 2010, 「海岸浸食対策と洋上発電 併用、複合事業で一石三鳥狙うべき」『月刊道北』41(6):4-6.
- ・飯田哲也, 2000, 『北欧のエネルギーデモクラシー』新評論.
- ・飯田哲也／環境エネルギー政策研究所(ISEP)編, 2014, 『コミュニティパワー エネルギーで地域を豊かにする』学芸出版社.
- ・生野正剛／早瀬隆司／姫野順一編, 2003, 『地球環境問題と環境政策』ミネルヴァ書房.
- ・池田寛二, 2016, 「気候変動の社会学をめざして」『社会志林』62(4):35-51.
- ・池田寛二／堀川三郎／長谷部俊治編, 2012, 『環境をめぐる公共圏のダイナミズム』法政大学出版局.
- ・池本末和, 2013, 「湖南省地域自然エネルギー基本条例 自然エネルギーは地域のもの」『季刊自治と分権』50:64-74.
- ・石垣編集部, 2013, 「最先端は最先端 北海道稚内市 雄大な自然と風車のまち」『石垣』33(2):37-41.
- ・石神隆, 2012, 「長野県飯田市にみる人間と環境の時代のまちづくり」, 小島聡／西城戸誠編, 『フィールドから考える地域環境 持続可能な地域社会を目指して』ミネルヴァ書房, pp.189-200.
- ・石川憲二, 2010, 『自然エネルギーの可能性と限界 風力・太陽光発電の実力と現実解』オーム社.
- ・石倉研, 2014, 「ドイツにおける再生可能エネルギー買取の制度と価格の変遷に関する考察」『一橋経済学』7(1):33-64.
- ・石倉研／山下英俊, 2015, 「都道府県単位で見た再生可能エネルギー利用の特徴と課題 全国市区町村アンケートの結果から」『一橋経済学』8(1):63-98.
- ・石田正昭編, 2008, 『農村版コミュニティ・ビジネスのすすめ 地域再活性化とJAの役割』家の光協会.

- ・石田秀樹／古川柳蔵，2014，『地下資源文明から生命文明へ 人と地球を考えたあたらしいものつくりと暮らし方のか・た・ち ネイチャー・テクノロジー』東北大学出版会。
- ・石田信隆，2014，「再生可能エネルギー導入における協同組合の役割 ドイツの事例と日本への示唆」『一橋経済学』7(1):65-81.
- ・伊勢公人，2012，「再生可能エネルギー大量導入における課題 ドイツの事例から」『日本原子力学会誌』54(2):39-42.
- ・井田均，2005，『主役に立つエコ・エネルギー』緑風出版。
- ・イデア株式会社，2012，『平成 23 年度 環境影響評価法対象事業への風力発電の追加に係る検討調査報告書』。
- ・伊藤浩一，2004，「北海道猿払村まちづくり会議条例」『法令解説資料総覧』272:143-145.
- ・伊藤修一郎，2002，『自治体政策過程の動態 政策イノベーションと波及』慶應義塾大学出版会。
- ・伊藤章治，2012，『風と風車の物語 原発と自然エネルギーを考える』論創社。
- ・伊藤義康，2012，『分散型エネルギー入門 電力の地産地消と再生可能エネルギーの活用』講談社ブルーバックス。
- ・植洋輔／原亮一／北裕幸／齋藤裕／伊藤孝充／植田喜延／滝谷克幸／齋藤正美，2009，「稚内メガソーラー発電所におけるならし効果の基礎検討」『太陽／風力エネルギー講演論文集(2009)』:69-72.
- ・植田和弘，2008，「地球温暖化防止と低炭素社会への課題」『生活協同組合研究』390:7-12.
- ・植田和弘，2013，『緑のエネルギー原論』岩波書店。
- ・宇沢弘文，1974，『自動車の社会的費用』岩波新書。
- ・宇沢弘文，2000，『社会的共通資本』岩波新書。
- ・牛山泉／西沢良史／根本泰行，2008，「山田風車の技術史的評価」『技術史教育学会誌』9(1・2):15-23.
- ・内田真人，2001，「地域の先輩酪農家たちが育てる新規就農者 猿払村新規就農者受け入れ推進協議会」『農家の友』53(7):20-22.
- ・内橋克人，2005，『NHK 人間講座 「共生経済」が始まる』日本放送出版協会。
- ・内橋克人，2009，『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』朝日新聞出版。
- ・生方秀紀／神田房行／大森享編，2010，『ESD をつくる 地域でひらく未来への教育』ミネルヴァ書房。
- ・エコ・パワー，2014，『猿払村及び浜頓別町における風力発電事業計画段階環境配慮書〔要約版〕』。
- ・エネルギー・環境会議コスト等検証委員会，2013，『コスト等検証委員会報告書』。
- ・エネルギー総合工学研究所，2004，「風力発電 新エネルギーの展望【再改定版】」。
- ・NPO 北海道自然エネルギー研究会編，2007，『光も風も水も氷も雪もバイオもみんな宝もの 自然エネルギー入門』東洋書店。

- ・大内幸則／片野浩司／上野仁士／加藤康德／吾田洋一，2011，「社会資本の管理と再生可能エネルギーについて」『寒地土木研究所月報』695:30-38.
- ・大江正章，2008，『地域の力 食・農・まちづくり』岩波新書.
- ・大島堅一，2010，『再生可能エネルギーの政治経済学 エネルギー政策のグリーン改革に向けて』東洋経済新報社.
- ・大友詔雄編，2012，『自然エネルギーが生み出す地域の雇用』自治体研究社.
- ・大沼敦朗，2006，「日本最北端の村から 顔の見えるまちづくり（猿払村）」『財団ニュース』72:63-66.
- ・大野晃，2008，『限界集落と地域再生』北海道新聞社.
- ・小川博，2015，「エネルギー自治からの地方創生を目指して 長野県飯田市の取り組み」『地方議会人』46(4):30-33.
- ・小川文夫，2002，「山村留学制度で地域の人口を増やす浜頓別町の取り組み 熱気に包まれる地域と学校」『北方農業』52(6):10-14.
- ・小川文夫，2005，「地域の活性化をめざしたオラが町の山村留学」『ほっかいどう政策研究』15:60-67.
- ・小熊二郎，2009，「北海道稚内市 『人と地球にやさしいまちづくり』」『クリーンエネルギー』18(11):64-66.
- ・小熊二郎，2012a，「北海道稚内市 『人と地球にやさしいまちづくり』をテーマに新エネルギー地産地消のモデル地域をめざす」『水』54(1):26-30.
- ・小熊二郎，2012b，「稚内市次世代エネルギーパーク 環境都市わっかない」『クリーンエネルギー』21(5):65-68.
- ・小熊二郎，2012c，「人と地球環境にやさしい環境都市を目指して」『燃料電池』11(3):23-26.
- ・小澤祥司，2003，『コミュニティエネルギーの時代へ』岩波書店.
- ・小澤祥司，2012，『減電社会 コミュニティから始めるエネルギー革命』講談社.
- ・織田直文，2005，『臨地まちづくり学』サンライズ出版.
- ・音威子府村，2013，『第5期 音威子府村総合計画』.
- ・音威子府村，2015a，「音威子府村 まち・ひと・しごと創生総合戦略」.
- ・音威子府村，2015b，「音威子府村人口ビジョン」.
- ・音威子府村，2016，『音威子府村バイオマス産業都市構想』.
- ・音威子府村史編さん委員会編，1976，『音威子府村史』音威子府村.
- ・音威子府村史編纂委員会編，2007，『音威子府村史（上巻本編）』音威子府村.
- ・小野一，2012，「新エネルギー・コンセプトの政治的位置」，小野一，『現代ドイツ政党政治の変容 社会民主党、緑の党、左翼党の挑戦』吉田書店，pp.113-138.
- ・小野善康，2012，『成熟社会の経済学 長期不況をどう克服するか』岩波新書.
- ・おひさま進歩エネルギー，2012，『みんなの力で自然エネルギーを 市民出資による「おひさま」革命』南信州新聞出版局.

- ・小平町，2013，「小平町新総合計画後期基本計画 2013▶2017（平成25年～29年度）」。
- ・小平町，2015a，『まち・ひと・しごと創生 小平町人口ビジョン・総合戦略』。
- ・小平町，2015，「海と太陽と緑のさとおびら 2015年資料編」。
- ・開発こうほう編集部，2005，「日本最北端のマチから世界最先端のマチへ 稚内新エネルギー研究会」『開発こうほう』502:30-32。
- ・開発こうほう編集部，2012，「地域に密着した金融機関を目指して 二つの地域金融機関の取り組みから」『開発こうほう』590:19-24。
- ・開発こうほう編集部，2013a，「最北端のまちが取り組む再生可能エネルギー戦略 人と地球にやさしいまちを目指す稚内市」『開発こうほう』596:19-23。
- ・開発こうほう編集部，2013b，「環境をキーワードに、循環型の地域づくりを 再生可能エネルギー活用で経済の活性化を目指すニセコ町」『開発こうほう』596:24-28。
- ・開発こうほう編集部編，2013，「テーマ：地域と再生可能エネルギー」『開発こうほう』596:1-28。
- ・科学技術と経済の会監修／エネルギー環境教育研究会編，2008，『持続可能な社会のためのエネルギー環境教育 欧米の先進事例に学ぶ』国土社。
- ・郭四志，2011，『中国エネルギー事情』岩波新書。
- ・笠井勝雄，1977，「ホタテ貝と酪農の村 北海道猿払村」『AFF』8(8):56-58。
- ・笠松和市／佐藤由美，2008，『持続可能なまちは小さく、美しい 上勝町の挑戦』学芸出版社。
- ・梶村太郎，2015，「新たな段階を迎えたドイツのエネルギー転換」『世界』865:37-40。
- ・柏谷至，2008，「対案提示型環境運動の地域的展開 市民出資による風力発電所の建設過程から」『地域社会研究』16:99-113。
- ・柏谷至，2010，「“地域を元気にする風車”の模索 市民風車わんずの経験から」『風力エネルギー』34(2):9-12。
- ・嘉田由紀子／槌田劭／山田國廣編，2000，『共感する環境学 地域の人びとに学ぶ』ミネルヴァ書房。
- ・片野優，2008，『ヨーロッパ環境対策最前線』白水社。
- ・片山貢／田中克良／佐藤功行／高橋竜也，2003，「稚内市水道部の風力発電を利用した水処理コストの削減」『水道協会雑誌』72(11):9-23。
- ・片山善博，2015，「地域の自立と再生に向けて」『生活協同組合研究』472:5-14。
- ・金子憲治，1999，「世界でブームの風力発電 コスト下がり続々事業化 後進国・日本も巻き返しへ」『日経ビジネス』1004:68-71。
- ・金子勝／アンドリュー・デヴィッド，2007，『環境エネルギー革命』アスペクト。
- ・金子勝／武本俊彦，2014，『儲かる農業論 エネルギー兼業農家のすすめ』集英社新書。
- ・金田昭久／真鍋惇，1984，「山田風車の運転結果」『宇部工業高等専門学校研究報告』30:47-51。
- ・上治堂司／竹下登志成，2007，『ゆずと森を届ける村 馬路村』自治体研究社。
- ・川原誠，2002，「ドイツにおける地球環境問題とエネルギー対策」『JETRO ユーロトレンド』2002.9:16-23。

- ・川満貴子／玉城史朗／長井浩／藤本聡，2004，「沖縄県の洋上風力発電機設置における二酸化炭素抑制効果について」『風力エネルギー』28(3):50-53.
- ・環境エネルギー政策研究所（ISEP），2012-2014，『自然エネルギー白書（各年度）』七つ森書館.
- ・環境省自然環境局野生生物課，2016，『海ワシ類の風力発電施設バードストライク防止策の検討・実施手引き』，(<https://www.env.go.jp/press/files/jp/103236.pdf>)
- ・菊地香，2009，『島嶼におけるさとうきび生産 その経営方式とバイオマス利用』農林統計協会.
- ・鬼頭秀一／福永真弓編，2009，『環境倫理学』東京大学出版会.
- ・木船久雄／西村陽／野村宗訓編，2010，『低炭素社会のビジョンと課題 エネルギー・環境・ネットワークの結節点を探る』晃洋書房.
- ・楠戸伊織里，2012，『放射性廃棄物の憂鬱』祥伝社新書.
- ・工藤律子，2001，「最先端、ドン・キホーテの国の再生可能エネルギー利用」『世界』820:279-286.
- ・栗本昭，2014，「協同組合基本法の可能性を考える」，生協総合研究所編，『生協総研レポート 77 非営利法人制度研究会成果まとめ』，pp.85-95.
- ・桑山顕／水永浩明／齋藤裕，2010，「NEDO ソーラープロジェクト稚内サイトにおける実証研究」『太陽エネルギー』36(1):15-20.
- ・経済界編集部，2008，「日本の最北端の北海道稚内市が最先端の自然エネルギー都市に」『経済界』43(1):127.
- ・経済産業省資源エネルギー庁編，2007，『最新エネルギー基本計画 エネルギー安全保障・経済成長・地球温暖化への総合的アプローチ』経済産業調査会.
- ・月刊道北編集部，2005a，「新エネルギーの世界のモデルめざす 壮大な目標掲げ稚内市に研究会発足」『月刊道北』36(3):6-7.
- ・月刊道北編集部，2005b，「『稚内新エネルギー研究会』が『環境最先端』のまちづくりへ 注目！風力発電＋燃料電池の組み合わせ」『月刊道北』36(9):10-11.
- ・月刊道北編集部，2006a，「浜頓別町長選結果を分析 広瀬氏現職の強み発揮 気になる得票の五割以下の意味」『月刊道北』37(5):8-9.
- ・月刊道北編集部，2006b，「稚内市 巷に話題氾濫の市長選 現職横田に三名の新人刺客の名前」『月刊道北』37(10):7-9.
- ・月刊道北編集部，2007a，「稚内市長横田、長谷川氏が表明 道議市部対立見えず、郡部は枝幸決戦」『月刊道北』38(1):6-9.
- ・月刊道北編集部，2007b，「“改革と希望のまち” 標榜、いざ決戦へ はせがわ伸一後援会、先陣切って事務所開き」『月刊道北』38(2):12-14.
- ・月刊道北編集部，2007c，「統一地方選挙特集 稚内市・宗谷管内」『月刊道北』38(4):4-9.
- ・月刊道北編集部，2007d，「宗谷管内・稚内市 統一地方選挙総まくり 活かされ切ったか貴重な一票」『月刊道北』38(5):4-9.

- ・月刊道北編集部, 2008, 「太陽光発電 自分の家が『発電所』 魚住建設 次世代の住宅建設めざしシャープ北海道地区登録店に」『月刊道北』 39(10):14-15.
- ・月刊道北編集部, 2009, 「2 年を切った稚内市長選挙 長谷川伸一氏『私は再挑戦します』 横田市長態度不明の中で宣言」『月刊道北』 40(6):4-5.
- ・月刊道北編集部, 2010a, 「統一地方選挙（稚内市長選の巻） 現職横田氏の動向見えず 長谷川氏再挑戦、新たな顔ぶれあるか」『月刊道北』 41(4):4-6.
- ・月刊道北編集部, 2010b, 「来春の稚内市長選挙展望 まず長谷川氏が名乗り 現職横田氏態度決定はまだ先か」『月刊道北』 41(9):8-9.
- ・ケンジ・ステファン・スズキ, 2003=2006, 『増補版 デンマークという国 自然エネルギー先進国 「風のがっこう」からのレポート』合同出版.
- ・小池浩一郎, 2002, 「バイオエネルギーからみた社会認識の潜勢力 分権化が開くエネルギー転換の可能性」『環境社会学研究』 8:54-72.
- ・小池哲司／倉阪秀史／馬上丈司, 2015, 「農山漁村再生可能エネルギー法の成立過程およびその課題」『人文社会科学研究』 31:124-143.
- ・小池田章／加藤勝博, 2011, 「自然エネルギーで作ったグリーン水素モデルの一提案 稚内が水素製造・供給の基地になる可能性について」『太陽/風力エネルギー講演論文集 (2011)』:441-444.
- ・河野直践, 2003, 「協同組合と社会経済システム 資源・環境問題の視点から」, 田畑稔／大藪龍介／白川真澄／松田博編, 『アソシエーション革命へ 【理論・構想・実践】社会評論社, pp.143-167.
- ・国土交通省北海道局参事官／国土交通省北海道開発局開発連携推進課, 2016, 「北海道水素地域づくりプラットフォーム平成 28 年度第 1 回会合 室蘭から始まる北海道水素サプライチェーンの展開」『開発こうほう』 639:9-13.
- ・小坂正則, 2012, 『市民電力会社をつくろう！ 自然エネルギーで地域の自立と再生を』影書房.
- ・小島聡／西城戸誠編, 2012, 『フィールドから考える地域環境 持続可能な地域社会を目指して』ミネルヴァ書房.
- ・コトキン, J., 2012, 「オバマが悩むエネルギー革命」『ニューズウィーク日本版』27(49):40-42.
- ・小西雅子, 2012, 「再生可能エネルギーの大幅導入に成功したスペイン その背景に『気象予測』を活用した独自の挑戦あり」『天気』 59(10):53-60.
- ・小林俊和, 2008, 『現代のエネルギー・環境政策 分権型福祉社会の文化的開発と環境制御』晃洋書房.
- ・近藤かおり, 2013, 「デンマークのエネルギー政策について 風力発電の導入政策を中心に」『レファレンス』 752:103-119.
- ・斎藤純夫, 2013, 『こうすればできる！地域型風力発電 地元利益を生み、愛される風車の実現』日刊工業新聞社.

- ・三枝俊哉, 2008, 「乳牛ふん尿メタン発酵消化液の草地への効果的施用法」『畜産環境情報』42:15-17.
- ・坂内久／大江徹男編, 2008, 『燃料か食料か バイオエタノールの真実』日本経済評論社.
- ・桜庭栄／中村弘之／横沢輝樹／中田伸也／加賀谷一行／江口肇／関和市, 2004, 「沿岸域における直線翼垂直軸風力発電システムの実験的研究」『太陽／風力エネルギー講演論文集(2004)』:129-132.
- ・左近勝, 2015, 「『北海道で一番小さな村』の村立高校、地域エネルギーの挑戦」『季刊地域』20:110-113.
- ・佐々木雅幸, 1994, 『ブックレットシリーズ「21世紀を地方自治の時代に！」⑦ 都市と農村の内発的発展』自治体研究社.
- ・佐藤真一, 2001, 「市民の力で脱原発 風力発電を! 北海道・浜頓別町の風車が語るもの」『望星』32(11):104-109.
- ・佐藤由美, 2000, 「住民の反対運動をきっかけに、地域で風力発電のあり方を見直す 北海道稚内市」『晨』19(12):90-93.
- ・佐藤由美, 2003, 『自然エネルギーが地域を変える まちづくりの新しい風』学芸出版社.
- ・猿払村, 2007, 『猿払村地域新エネルギービジョン策定調査報告書』.
- ・猿払村, 2008, 「猿払村バイオマスタウン構想(構想書)」.
- ・猿払村, 2010, 「平成21年度事業 地域バイオマス利活用に係るFS調査報告書(概要版)」.
- ・猿払村, 2011, 『第6次猿払村総合計画 北方に輝く地域力の源泉 ふるさと猿払』.
- ・猿払村, 2014, 「猿払村政要覧」.
- ・資源エネルギー庁, 2007a, 「私たちの暮らしとエネルギー」.
- ・資源エネルギー庁, 2007b, 「ススめ、ススめ。新エネライフ!」.
- ・資源エネルギー庁, 2008, 「平成20年度 第13回新エネ対象受賞事例」.
- ・資源エネルギー庁, 2008-2010, 『日本のエネルギー(各年度)』.
- ・資源エネルギー庁, 2011, 「電源立地制度の概要(平成23年度版)」.
- ・資源環境対策編集部編, 2002, 「特集／参加型エネルギー事業・風力発電の最新事情＝事例編」『資源環境対策』38(4):351-377.
- ・自治労連／地方自治問題研究機構編, 2016, 「特集：地球環境を守る自治体政策」『季刊 自治と分権』62:43-83.
- ・篠原隆雄, 2001, 「風かおる風車のまち苫前」『保険展望』48(5):10-12.
- ・篠原隆弘, 2002, 「地域社会とまちづくり」, 木下謙治／篠原隆弘／三浦典子編, 『シリーズ〔社会学の現在〕2 地域社会学の現在』ミネルヴァ書房, pp.252-275.
- ・篠山浩文, 2008, 『生物資源を活かしたまちづくり 山武町バイオマスタウン構想からの発信』千葉日報社.
- ・清水日香里／吉田磨／安藤達哉／安宅仁人／小西敢, 2012, 「水圏フィールドを用いた水環境における環境教育の実践と考察」『酪農学園大学紀要 人文・社会科学編』37(1):19-24.

- ・ 下天広浩, 2013, 「エネルギー自給のまちづくり 岩手県葛巻町の取り組み」『季刊自治と分権』 50:53-63.
- ・ シュタインホフ, D., 2014, 「アメリカにおける原子力エネルギーと代替エネルギー」『生活協同組合研究』 460:57-66.
- ・ シュラーズ, M.A., 2011, 『ドイツは脱原発を選んだ』岩波ブックレット.
- ・ 上越市, 2004, 『上越市第 5 次総合計画 基本構想・基本計画 2004』.
- ・ 上越市, 2007, 『上越市第 5 次総合計画(改訂版) 平成 19 年度→平成 26 年度 海に山に大地に 学びと出会いが織りなす共生・創造都市 上越』.
- ・ 上越市, 2014, 『上越市再生可能エネルギー導入計画』.
- ・ 上越市, 2015a, 「上越市市勢要覧 新生上越始動」.
- ・ 上越市, 2015b, 「上越市第 6 次総合計画【概要版】 すこやかなまち 人と地域が輝く上越」.
- ・ 上越市, 2015c, 「上越市第 6 次総合計画 すこやかなまち 人と地域が輝く上越」.
- ・ 上越市, 2015d, 「上越物語 歴史と自然に出会うまち」.
- ・ 上越市議会, 2005-2015, 『上越市議会会議録(各号)』
- ・ 上越地域合併協議会, 2004, 「新しい上越市 まちづくり計画編」.
- ・ 食料白書編集委員会編, 2009, 『2008 年度版食料白書 食料とエネルギー 地域からの自給戦略 エタノールによる資源利用の競合と今後の方向』農山漁村文化協会.
- ・ 白井信雄／樋口一清／東海明宏, 2012, 「遅延型組織を基盤とした地域環境力の形成 環境モデル都市・長野県飯田市を事例として」『社会・経済システム』 33:135-148.
- ・ 白木彩子, 2012, 「北海道におけるオジロワシ *Haliaeetus albisilla* の風力発電用風車への衝突事故の現状」『保全生態学研究』 17:85-96.
- ・ 白水忠隆, 2014, 「覚悟を決めて、シンプルに JA 浜中町と JA 越前たけふ」『生活協同組合研究』 466:44-46.
- ・ 新エネルギー財団, ****, 「みんなで学ぼう! What's 新エネ?」.
- ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) エネルギー対策推進部, 2008, 『新エネルギーガイドブック 2008』.
- ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO), 2009, 『新エネ百選 日本初の選定事業集』.
- ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 北海道支部編, 2006, 『北の大地 自然エネルギーとの共存 北海道新エネルギー導入促進事例集』.
- ・ 水産北海道編集部編, 2013, 「南部で好調続いた宗谷管内 史上三番目の取扱高を記録した枝幸 頓別のホタテは高歩留で単価上昇 地域ブランド構築をめざす猿払村・宗谷 稚内はコンブ対策がカギに」『水産北海道』 63(6):22-24.
- ・ 鈴木聡, 2010, 「新エネルギーと最北のまち稚内」『土木技術』 65(1):64-66.
- ・ 鈴木重男, 2001, 『ワインとミルクで地域おこし 岩手県葛巻町の挑戦』創森社.
- ・ 鈴木芳孝／菊地勝幸, 2005, 「日本の最北の地から政府のエネルギー政策を正す 幌延闘争と関わり 24 年」『まなぶ』 567:57-63.

- ・砂原庸介, 2011, 『地方政府の民主主義 財政資源の制約と地方政府の政策選択』有斐閣.
- ・生協総合研究所編, 2010, 「特集: 環境問題が提起する今日的な課題と対策」『生活協同組合研究』413:4-50.
- ・生協総合研究所編, 2012, 「特集: 福島原発事故以後のエネルギー問題を考える」『生活協同組合研究』433:4-52.
- ・生協総合研究所編, 2013a, 「特集: 生協の電力研究会を終えて」『生活協同組合研究』447:4-54.
- ・生協総合研究所編, 2013b, 「特集: 暮らしとエネルギー ガスの巻」『生活協同組合研究』453:4-57.
- ・生協総合研究所編, 2014, 「特集: 電力自由化と再生可能エネルギー」『生活協同組合研究』459:4-46.
- ・生協総合研究所編, 2015, 「特集: エネルギー転換について地域で市民にできること」『生活協同組合研究』468:4-48.
- ・関満博編, 2009, 『「エコタウン」が地域ブランドになる時代』新評論.
- ・関満博／及川孝信編, 2006, 『地域ブランドと産業振興 自慢の銘柄づくりで飛躍した9つの市町村』新評論.
- ・関満博／長崎利幸編, 2003, 『市町村合併の時代 中山間地域の産業振興』新評論.
- ・石炭エネルギーセンター, 2012, 「クリーンに利用される石炭」.
- ・石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC), ****, 「キミは知ってる? 地熱発電がすごい!!」.
- ・惣田昱夫編, 2007, 『世界初のバイオマス村ドイツ・ユンデを訪ねて コストから見たバイオマス発電』ブイツーソリューション.
- ・田浦健朗, 2008, 「市民・NGO が取り組む地球温暖化防止」『生活協同組合研究』390:28-35.
- ・多方一成, 2006, 『スローライフ・スローフードとグリーンツーリズム』東海大学出版会.
- ・高橋真樹, 2012, 『自然エネルギー革命をはじめよう 地域でつくるみんなの電力』大月書店.
- ・高橋真樹, 2016, 『そこが知りたい電力自由化 自然エネルギーを選べるの?』大月書店.
- ・高橋正郎監修／全国農業協同組合中央会編, 1985, 『村を活かす 地域加工産業の新しい波』筑波書房.
- ・高原一隆, 2008a, 『ネットワークの地域経済学 小さな会社のネットワークが地域をつくる』法律文化社.
- ・高村ゆかり, 2008, 「2013年以降の地球温暖化防止の国際的枠組みをめぐる交渉の課題」『生活協同組合研究』390:13-20.
- ・高村ゆかり, 2013, 「地球温暖化問題をどう見るか リスク、責任、新たなパラダイム」『世界思想』40:51-54.
- ・滝川薫／村上敦／池田憲昭／田代かおる／近江まどか, 2012, 『100%再生可能へ! 欧州のエネルギー自立地域』学芸出版社.
- ・武内和彦／鷺谷いづみ／恒川篤史編, 2001, 『里山の環境学』東京大学出版会.

- ・ 武田公子, 2003, 『ドイツ自治体の行財政改革 分権化と経営主義化』 有斐閣.
- ・ 武田浩喜, 2009, 「新たな産業の創造と地域振興を担う下川産業クラスター 北海道上川郡下川町住民の協働の基盤」『にじ』 626:84-92.
- ・ 竹濱朝美, 2012, 「再生可能エネルギー電力買取性の制度設計上の考慮点 ドイツ EEG の費用と効果の分析から」『人間と環境』 38(1):13-25.
- ・ 武谷三男, 1986a, 「事故の哲学」『技術と人間』 15(5):18-23.
- ・ 武谷三男, 1986b, 「続・事故の哲学」『技術と人間』 15(6):89-96.
- ・ 伊達市, ****, 「伊達市次世代エネルギーパーク 再生エネルギーコンパクトシティ 環境にやさしいまちだて」.
- ・ 田中克己, 2014a, 「『分権型エネルギー自治』を志向する飯田市の環境政策」『計画行政』 37(4):18-23.
- ・ 田中克己, 2014b, 「市民による再生可能エネルギーの協働的利用がもたらすもの」『環境研究』 176:71-78.
- ・ 田中克己／長谷川隆三, 2013, 「『飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例』の概要と制定の背景」『都市計画』 62(3):62-65.
- ・ 田中重好, 2010, 『地域から生まれる公共性 公共性と共同性の交点』 ミネルヴァ書房.
- ・ 田中直, 2012, 『適正技術と代替社会 インドネシアでの実践から』 岩波新書.
- ・ 田中充, 2016, 「再生可能エネルギーへの環境アセスメントの適用 風力発電所建設を例として」『社会志林』 62(4):95-116.
- ・ 田中充／白井信雄編 (地域適応研究会著), 2013, 『気候変動に適應する社会』 技報堂出版.
- ・ 田中充／白井信雄／馬場健司編, 2014, 『ゼロから始める暮らしに生かす再生可能エネルギー入門』 家の光協会.
- ・ 田中祐二／小池洋一編, 2010, 『地域経済はよみがえるか ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』 新評論.
- ・ 玉野井芳郎, 1978, 『エコノミーとエコロジー 広義の経済学への道』 みすず書房.
- ・ 玉野井芳郎／清成忠男／中村尚司編, 『地域主義 新しい思潮への理論と実践の試み』 学陽書房.
- ・ 鳥影社編集部編, 2016, 『森のリサイクル 自然は無限のエネルギー源』 鳥影社.
- ・ 土谷特殊農機具製作所, ****, 「環境というシステム。 MANURE HANDLING SYSTEM」.
- ・ 土谷特殊農機具製作所, ****, 「環境とエネルギーの新しい鍵。 BIOGAS PLANT」.
- ・ 土谷特殊農機具製作所, ****, 「2G バイオガス コージェネレーションユニット」.
- ・ 鶴田由紀, 2011, 「風力発電の実態」『北海道の自然』 49:104-113.
- ・ 鶴見和子, 1996, 『内発的発展論の展開』 筑摩書房.
- ・ デイリー, H. (【聞き手】 枝廣淳子), 2014, 『「定常経済」は可能だ!』 岩波ブックレット.
- ・ デヴィッド・A, 2011, 「低コストで持続可能な経済社会への政治経済」『生活協同組合研究』 428:20-27.

- ・ 手作りエネルギー研究会編, 2005, 『自然エネルギー大全』家の光協会.
- ・ 寺西俊一／石田信隆／山下英俊編, 2013, 『ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換 再生可能エネルギーと地域の自立』家の光協会.
- ・ 寺林暁良, 2014, 「小規模分散型の再生可能エネルギーと地域金融 事業組織の形態と地域金融機関の役割に着目して」『一橋経済学』7(1):83-100.
- ・ 寺林暁良, 2015a, 「ドイツにおけるエネルギー協同組合の新たな展開 再生可能エネルギー政策の動向をふまえて」『農中総研 調査と情報』50:16-17.
- ・ 寺林暁良, 2015b, 「農山村の活性化に資する再生可能エネルギー事業の方向性 求められる地域ガバナンス」『農林金融』68(10):31-45.
- ・ 傳詰, 2014, 「ドイツの再生可能エネルギー政策の成果と課題」『一橋経済学』7(1):5-32.
- ・ トインビー・A., 1957, 「原子力時代におけるデモクラシー」, トインビー・A. (=松本重治訳), 『歴史の教訓』岩波書店, pp.129-153.
- ・ トッド・E／リスト・F／トッド・D／グレオ・J-L／サピール・J／松川周二／中野剛志／西部邁／関曠野／太田昌国／関良基／山下惣一, 2011, 『自由貿易という幻想 リストとケインズから「保護貿易」を再考する』藤原書店.
- ・ 苫前町, 1997, 『苫前町グリーンヒルにおける風力開発フィールドテスト事業（風況精査）報告書』.
- ・ 苫前町, 2011, 『第4次苫前町総合振興計画 基本構想（平成18年度～平成27年度） 後期基本計画（平成23年度～平成27年度）』
- ・ 苫前町, 2012a, 「苫前町勢要覧 pure クリーンな風がピュアな幸せを運ぶ 風かおる人が輝き躍動するまち」.
- ・ 苫前町, 2012b, 「2012年 町勢要覧資料編」.
- ・ 苫前町, 2016, 「苫前町まち・ひと・しごと創生総合戦略」.
- ・ 鳥越皓之／小林久／海江田秀志／泊みゆき／山崎淑行／古谷桂信, 2010, 『地域の力で自然エネルギー!』岩波ブックレット.
- ・ 中島恵理, 2006, 『ビジネスの魅力を高める自然エネルギー活用術 小さな社会、小さな町を元気にするステキな方法』築地書館.
- ・ 中島哲夫, 2000, 「最北端での太陽光発電 石油枯渇・脱原発に備えて」『太陽／風力エネルギー講演論文集(2000)』:5-8.
- ・ 中田実, 1993, 『地域共同管理の社会学』東信堂.
- ・ 中西準子, 1995, 『環境リスク論 技術論からみた政策提言』岩波書店.
- ・ 中村剛治郎, 2000, 「内発的發展論の發展を求めて」『政策科学』7(3):139-161.
- ・ 中村成人, 2001, 「大規模風力発電の導入事例とその特長 苫前グリーンヒルウィンドパーク」『紙パ技協誌』55(5):64-69.
- ・ 中村成人, 2008, 「過渡期にある風力発電 世界の動向と日本の現状と将来」『風力エネルギー』32(1):48-52.

- ・中村成人, 1999, 「売電事業としての風力発電の展開 北海道・苫前町における 2 万 kW 旧風力発電開発を踏まえて」『資源環境対策』 35(1):47-51.
- ・中村太和, 2001, 『自然エネルギー戦略 “エネルギー自給圏” の形成と市民自治』自治体研究社.
- ・中山琢夫／ラウパツハ・スミヤ ヨーク／諸富徹, 2016, 「日本における再生可能エネルギーの地域付加価値創造 日本版地域付加価値創造分析モデルの紹介、検証、その適用」『サステナビリティ研究』 6:101-115.
- ・中山徹, 2016, 『人口減少と地域の再編 地方創生・連携中枢都市圏・コンパクトシティ』自治体研究社.
- ・奈須憲一郎, 2010, 「社会的企業が生み出す新しい働き場 北海道下川町」『月刊自治研』 52(4):48-55.
- ・新妻弘明, 2011, 『地産地消のエネルギー』NTT 出版.
- ・新山政和, 2010, 「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究 稚内メガソーラープロジェクトにおける研究概要について」『エネルギーと動力』 275:49-57.
- ・新山政和, 2011, 「大規模太陽光発電システムでの蓄電池を用いた出力制御技術 稚内メガソーラープロジェクト」『太陽エネルギー』 37(3):31-35.
- ・西川潤編, 2001, 『アジアの内発的発展』藤原書店.
- ・西川一誠, 2009, 『「ふるさと」の発想 地方の力を活かす』岩波新書.
- ・西城戸誠, 2012, 「青森県鮎ヶ沢町にみる過疎と環境問題」, 小島聡／西城戸誠編, 『フィールドから考える地域環境 持続可能な地域社会を目指して』ミネルヴァ書房, pp.189-200.
- ・西城戸誠, 2014a, 『再生可能エネルギーと地域社会における絆づくりに関する比較研究』全労済協会.
- ・西城戸誠, 2014b, 「『コミュニティ・パワー』としての市民出資型再生可能エネルギー事業の成果と課題」『人間環境論集』 15(1):1-67.
- ・西林勝吾, 2014, 「地域からのエネルギー転換における事例研究 グロースバールドルフとマウエンハイムの比較」『一橋経済学』 7(2):67-89.
- ・西村一郎, 2007, 「ピークオイル論について」『生活協同組合研究』 384:46-53.
- ・ニセコ町, 2011, 『平成 21 年度 “緑の分権改革” 推進事業 ニセコ町自然エネルギー賦存量調査およびクリーンエネルギー実証実験報告書 (概要版)』.
- ・日経エコロジー編集部, 2010, 「地方からの胎動 北九州市と下川町の社会変革」『日経エコロジー』 135:32-34.
- ・日本風力エネルギー学会編, 2004, 「特集:風力発電と自然環境」『風力エネルギー』28(3):4-28.
- ・日本野鳥の会, 2006, 「風力発電施設が鳥類に与える影響に関する国際シンポジウム」.
- ・New Energy 編集部, 2010, 「平成 21 年度都市エネルギー事情視察研修 稚内市新エネルギー施設視察研修報告」『New Energy』 167:28-31.
- ・ニューズウィーク日本版編集部編, 2012, 「脱原発のコスト」『ニューズウィーク日本版』

27(41):23-33.

- ・農文協文化部編，1987，『地域形成の原理』農文協.
- ・Biomass Engineering United (BEU)，****，「EnerGrain Harvester」.
- ・農林水産省，2016，「【平成 28 年度版】中山間地域等直接支払制度 第 4 期対策（平成 27 年度～平成 31 年度）」.
- ・橋本重子，1998，「ホタテ養殖魚家労働力の就業構造 猿払村漁家実態調査報告」『北日本漁業』26:69-87.
- ・蓮見音彦編，2007，『講座社会学 3 村落と地域』東京大学出版会.
- ・長谷川建設，2010，「国土交通省建設業と地域の元気回復助成事業 『新エネルギーシステムを使った電気自動車への充電実証実験』業務報告書」.
- ・長谷川公一，2011，『脱原子力社会へ 電力をグリーン化する』岩波新書.
- ・長谷川伸一，2006，「日本最北端の街から世界最先端の街へ 地球環境を考える市民の街、稚内を作るために」『月刊道北』37(6):12-14.
- ・長谷川伸一，2009，「新エネルギーで土木事業を生む」『日経コンストラクション』469:52-58.
- ・長谷川伸一，2011，「風のまち稚内の挑戦 最北端のまちから、新エネルギーの未来をつくる」『太陽/風力エネルギー講演論文集（2011）』:437-440.
- ・長谷川伸一，2012，「風と燃料電池で築く環境最先端のまちづくり」『燃料電池』11(3):27-31.
- ・長谷部俊治／船橋晴敏，2012，『持続可能性の危機 地震・津波・原発事故災害に向き合って』御茶の水書房.
- ・畑山敏夫，2012，「政治的エコロジーとは何か」，畑山敏夫，『フランス緑の党とニュー・ポリティクス 近代社会を超えて緑の社会へ』吉田書店，pp.1-21.
- ・浜頓別町，2001，『浜頓別町勢要覧 2001 生命の楽園 人と水鳥のふるさと・はまもんべつ』.
- ・浜頓別町，2009，『第 5 次浜頓別町まちづくり計画【平成 21 年度～平成 30 年度】』.
- ・浜頓別町，2014，『統計資料 平成 25 年度』.
- ・浜頓別町議会，1999-2000，『浜頓別町議会会議録』.
- ・林農，2004，「新時代の産官学連携と風力発電」『風力エネルギー』28(3):64-67.
- ・平林祐子，2008，「再生可能エネルギー普及への環境社会学的分析視角」『都留文科大学研究紀要』67:73-87.
- ・平松守彦，1983，『テクノポリスへの挑戦 頭脳立県をめざす大分』日本経済新聞社.
- ・広井良典，2001，『定常型社会 新しい「豊かさ」の構想』岩波新書.
- ・広井良典，2006，『持続可能な福祉社会 「もうひとつの日本」の構想』ちくま新書.
- ・広井良典，2013，『人口減少社会という希望 コミュニティ経済の生成と地球倫理』朝日新聞出版.
- ・福富満久，2015，『G ゼロ時代のエネルギー地政学 シェール革命と米国の新秩序構想』岩波書店.
- ・福本豊，2008，『クリーン電力を活用したまちづくりの可能性 ―地域からつくる循環型社会

- 一』2007年度北海道教育大学教育学部旭川校生涯教育課程卒業論文。
- ・藤井石根監修／フォーラム人権・平和・環境編，2005＝2007，『増補改訂版 二〇五〇年自然エネルギー一〇〇% エコ・エネルギー社会への提言』時潮社。
 - ・藤井康平，2014a，「エネルギー転換における地方自治体の役割 ドイツとオーストリアの事例から見る日本への示唆」『環境と公害』43(4):22-28。
 - ・藤井康平，2014b，「ドイツの地方自治体による再生可能エネルギー政策の展開 バイエレン州アシャ村を事例として」『一橋経済学』7(2):45-66。
 - ・藤井康平／山下英俊，2015，「地域における再生可能エネルギー利用の実態と課題 全国市区町村アンケートの結果から」『一橋経済学』8(1):27-61。
 - ・藤垣裕子，2003，『専門知と公共性 科学技術社会論の構築へ向けて』東京大学出版会。
 - ・フリードリヒ・エーベルト財団編，2012，「ドイツの脱原発のシナリオ」。
 - ・古沢広佑，2015，「胎動するエネルギー市民革命 地域で市民がエネルギー転換に取り組み意義」『生活協同組合研究』468:5-12。
 - ・古屋将太，2012a，「地域自然エネルギー政策・市場の形成 『政策文化』と『エージェンシー』の視点から」，池田寛二／堀川三郎／長谷部俊治編，『環境をめぐる公共圏のダイナミズム』法政大学出版局，pp.237-261。
 - ・古屋将太，2012b，「『コミュニティ・パワー』としての自然エネルギー推進体制構築とその課題」『環境研究』168:47-54。
 - ・古屋将太，2013a，『コミュニティ発電所 原発なくてもいいかもよ？』ポプラ新書。
 - ・古屋将太，2013b，「地域からの自然エネルギー普及の可能性と課題」『日本の科学者』48(3):175-179。
 - ・北洋銀行，2014，「北洋銀行のCSR2014（環境・社会・経営レポート）」。
 - ・細金恒男，2010，「地域の希望を高校にたくす村 北海道音威子府村から」『教育』60(10):95-107。
 - ・北海道，2016，『北海道総合計画 輝きつつける北海道 2016年度～2025年度』。
 - ・北海道教育大学旭川校社会学研究室編，2015，『北海道教育大学旭川校社会学研究室調査報告 11 再生可能エネルギーによるまちづくりの現状と課題』。
 - ・北海道グリーンファンド，2016，「市民エネルギー情報センター機能構築にむけた北海道型低炭素ライフ普及活動報告書 2013.4-2016.3」。
 - ・北海道経済産業局，2007，「北海道のエネルギー消費動向について 地域のエネルギー消費の現状からわかること」。
 - ・北海道経済産業局，2008a，『COOL ENERGY4 雪氷熱エネルギー活用事例集 4』。
 - ・北海道経済産業局，2008b，「あなたも参加！ 新エネルギーのツボ」。
 - ・北海道経済産業局，2008c，「北海道新エネルギーマップ 2008」。
 - ・北海道経済産業局，2008，「北海道経済の現状と展望」。
 - ・北海道新聞社編，2008，『検証 拓銀破たん 10年』北海道新聞社。
 - ・北海道新聞社編，2013，『原子力 負の遺産 核のごみから放射能汚染まで』北海道新聞社。

- ・北海道大学大学院農学研究院／山本建設／稚内新エネルギー研究会／JA 稚内／稚内北星学園大学／わからない勇知いも研究会，2016，「雪氷等の自然冷熱利用による貯蔵庫」.
- ・北海島町村会編，2012，「再生可能エネルギーによる地域振興策を協議 再生可能エネルギーに関する特別委員会」『北海道町村会報』654:1.
- ・北海道バイオマスリサーチ，2016，「平成 26 年度施行（繰越）幌延町バイオマス利活用可能性調査業務報告書」.
- ・星野智，2009，『環境政治とガバナンス』中央大学出版部.
- ・保母武彦，1996，『内発的発展と日本の農山村』岩波書店.
- ・保母武彦，1999，『内発的発展による地域産業の振興』地方自治土曜講座ブックレット.
- ・幌延町，2007，『幌延町地域新エネルギービジョン』.
- ・幌延町，2008，『第 5 次幌延町総合計画 町民一人ひとりが主役！ 夢と活力に満ち自然と共生する安心で住みよい町 前期基本計画 平成 20 年度～平成 25 年度』.
- ・幌延町，2011，「第 5 次幌延町行政改革大綱 新・ほろのべ自律プラン 計画期間 平成 23 年度～平成 27 年度」.
- ・幌延町，2012，「幌延町 平成 24 年度町勢要覧」.
- ・幌延町，2014a，『第五次幌延町総合計画 後期基本計画』.
- ・幌延町，2014b，「平成 26 年度町政執行方針」.
- ・幌延町，2015，「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」.
- ・本田技術研究所，2012，「Honda の燃料電池電気自動車開発の現状と導入に向けて」全国石油協会燃料電池自動車プレゼンテーション資料.
- ・本田宏，2005，『脱原子力の運動と政治 日本のエネルギー政策の転換は可能か』北海道大学図書刊行会.
- ・前田典秀，2006，『風をつかんだ町 クリーンエネルギー・自然の財宝を掘り当てた岩手県葛巻町の奇跡』風雲舎.
- ・前田保仁，1985，「ホタテガイ漁業に活路を求めて 北海道・猿払村」『地域開発』251:31-36.
- ・馬上丈司，2013，「エネルギー永続地帯指標との比較によるわが国の再生可能エネルギー統計の問題」『公共研究』9(1):190-206.
- ・松井英章，2012，「再生可能エネルギーと地方分散型社会」『公営企業』44(8):17-25.
- ・松井英章，2013，「電力自由化と地域エネルギー事情 ドイツの先行事例に学ぶ」『JRI レビュー』9(10):20-29.
- ・松井英章，2014，「再生可能エネルギーの現状と将来像 FIT 制度とその関連施策のあるべき姿」『月間ビジネスアイ ENECO』47(7):22-25.
- ・松浦隆幸，2000，「土木の風景 北海道苫前町 苫前グリーンヒル・ウィンドパーク」『日経コンストラクション』248:94-98.
- ・松下和夫，2013，「地域主導の自然エネルギーの拡大 長野県飯田市の挑戦」『経営センサー』151:29-33.

- ・松下圭一, 1990, 『政策型思考と政治』東京大学出版会.
- ・松原隆一郎, 2011, 『日本経済論 「国際競争力」という幻想』NHK 出版新書.
- ・松久寛編, 2012, 『縮小社会への道 原発も経済成長もいらない幸福な社会を目指して』日刊工業新聞社.
- ・松宮朝, 2003, 『地域形成メカニズムの変容と「内発的発展」に関する社会学的研究』北海道大学大学院文学研究科博士学位論文.
- ・松本懿／佐藤吉彦／橋場利夫／山北博明／飯野政一／神原勝, 2006, 『コミュニティビジネスと建設帰農 北海道の事例に日本の先端を学ぶ』公人の友社.
- ・松本三和夫, 2002, 『知の失敗と社会 科学技術はなぜ社会にとって問題か』岩波書店.
- ・丸山康司, 2006, 「環境問題と社会的持続可能性 市民風車事業における社会的ネットワーク」『家計経済研究』63:32-40.
- ・丸山康司, 2009a, 「持続可能なエネルギーを生かす」, 関礼子／中澤秀夫／丸山康司／田中求編, 『環境の社会学』有斐閣, pp.183-201.
- ・丸山康司, 2009b, 「『地球に優しい』を問う 自然エネルギーと自然『保護』の隘路」, 鬼頭秀一／福永真弓編, 『環境倫理学』東京大学出版会, pp.171-183.
- ・丸山康司, 2012a, 「風力発電の社会的受容性の課題と解決策 IEA Wind Task28 を踏まえて」『風力エネルギー』36(2):169-173.
- ・丸山康司, 2012b, 「騒音問題と社会的受容性 海外事例における問題認識と解決への取り組み」『風力エネルギー』36(4):542-545.
- ・丸山康司, 2013, 「社会イノベーションとしての風力発電」『環境会議』40:222-227.
- ・丸山康司, 2014a, 『再生可能エネルギーの社会化 社会的受容性から問いなおす』有斐閣.
- ・丸山康司, 2014b, 「風力発電事業と地域社会 能動的な社会的受容の条件についての考察」『風力エネルギー』38(1):9-13.
- ・丸山康司, 2015, 「ドイツにおけるエネルギー転換の現状と社会的理念」『ドイツ研究』49:66-77.
- ・丸山康司／加藤隆之, 2006, 「青森県鮎ヶ沢町におけるバイオマス事業の展開」『環境研究』142:38-43.
- ・丸山康司／西城戸誠／本巢芽美編, 2015, 『再生可能エネルギーのリスクとガバナンス 社会を持続していくための実践』ミネルヴァ書房.
- ・丸山康司／船戸修一, 2012, 「玉野井芳郎 『エコノミーとエコロジー 広義の経済学への道』」, 西城戸誠／船戸修一編, 『ブックガイドシリーズ基本の 30 冊 環境と社会』人文書院, pp.112-117.
- ・丸山康司／本巢芽美, 2011, 「風力発電の社会的受容性 科学コミュニケーションの限界を踏まえた方策」『年報 科学・技術・社会』20:37-55.
- ・三重大学エネルギー環境研究室, ****, 『苦前町・三重大学共同調査研究報告書 苦前町活性化のためのオロロン・ロマンチック・ウィンドロードと融合した集合型風力発電に関する調査研究』.

- ・三木康臣, 2010a, 「稚内新エネルギー施設見学会に参加して」『太陽エネルギー』36(6):111-114.
- ・三木康臣, 2010b, 「稚内新エネルギー施設見学会に参加して」『道東ネイチャーテック』2:19-22.
- ・三木康臣, 2010c, 「稚内新エネルギー施設見学会に参加して」『Wind Energy』34(3):48-50.
- ・水谷洋一／酒井正治／大島堅一, 2007, 『地域発！ストップ温暖化ハンドブック 戦略的政策形成のすすめ』昭和堂.
- ・見田宗介, 1996, 『現代社会の理論 情報化・消費化社会の現在と未来』岩波新書.
- ・三保谷明, 2004, 「寒冷山岳高地における風力開発と地域環境への配慮について グリーンパワーくずまき風力発電所建設工事の概要」『風力エネルギー』28(3):68-71.
- ・三宅佑季, 2014, 『風力発電の希望と課題』2013 年度北海道教育大学教育学部教員養成課程旭川校卒業論文.
- ・宮崎淳（岩谷産業）, 2012, 「水素エネルギー社会実現に向けて 水素インフラ整備」次世代エネルギーに関する検討会発表資料.
- ・宮崎猛編, 2000, 『農と食文化のあるまちづくり』学芸出版社.
- ・宮谷内留雄／安斎保／見野全／佐藤克廣／神原勝, 2007, 『北海道町村会地方自治土曜講座ブックレット 114 北海道の先進事例に学ぶ』公人の友社.
- ・宮本憲一／遠藤宏一編, 1998, 『地域経営と内発的發展 農村と都市の共生を求めて』農文協.
- ・三輪修也／矢元修, 2008, 「稚内メガソーラープロジェクト」『電気設備学会誌』28(11):821-825.
- ・村上敦, 2007, 『フライブルクのまちづくり ソーシャル・エコロジー住宅地ヴォーバン』学芸出版社.
- ・村田武／渡邊信夫編, 2012, 『脱原発・再生可能エネルギーとふるさと再生』筑波書房.
- ・室田武, 1982, 『水土の経済学 くらしを見つめる共生の思想』紀伊国屋書店.
- ・藻谷浩介／NHK 広島取材班, 2013, 『里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く』角川書店.
- ・持田紀治編, 1995, 『むらまち交流と地域活性化』家の光協会.
- ・守友裕一, 1991, 『内発的發展の道 まちづくりむらづくりの論理と展望』農文協.
- ・諸富徹, 2013a, 「『エネルギー自治』と内発的發展 長野県飯田市の事例を踏まえて」『住民と自治』604:21-24.
- ・諸富徹, 2013b, 「『エネルギー自治』による地方自治の涵養 長野県飯田市の事例を踏まえて」『地方自治』786:2-29.
- ・諸富徹, 2013c, 「再生可能エネルギーで地域を再生する 『分権型電力システム』に移行するドイツから何を学べるか」『世界』848:152-162.
- ・諸富徹, 2014, 「エネルギー自治と再生可能エネルギー 長野県飯田市の実践から」『農林金融』67(6):413-416.
- ・諸富徹, 2015, 「『エネルギー自治』で地域再生！ 飯田モデルに学ぶ」岩波ブックレット.
- ・諸富徹編, 2015, 『再生可能エネルギーと地域再生』日本評論社.
- ・八木信一, 2013, 「低炭素都市への移行戦略と地方財政運営 長野県飯田市を事例として」『地

方財政』52(4):189-209.

- ・八木信一, 2014, 「自然エネルギーの普及へ向けた自治システムの構築 長野県飯田市を事例として」『経済学研究』81(4):351-367.
- ・山崎朗編, 2002, 『クラスター戦略』有斐閣.
- ・藪野祐三, 1986, 『先進社会のイデオロギー ソシオ・ポリティクスの冒険』法律文化社.
- ・山崎由希子, 2013, 「カナダにおける地域エネルギー協同組合の取り組み事例」『生活協同組合研究』449:47-52.
- ・山下英俊, 2014b, 「再生可能エネルギーによる地域の自立をめざして 日本でこそ『地域からのエネルギー転換』を」『環境と公害』43(4):2-7.
- ・山下英俊, 2016a, 「基礎自治体における再生可能エネルギー導入の取り組みと政策課題」『環境と公害』45(4):8-13.
- ・山下英俊, 2016b, 「ドイツにおけるエネルギー転換の新段階 再生可能エネルギー法 2014年改正の背景と評価」『ドイツ研究』50:129-145.
- ・山下英俊／藤井康平, 2015, 「エネルギー源別に見た自治体の再生可能エネルギーに対する取り組み」『都市問題』106(5):44-55.
- ・山下英俊／藤井康平, 2016, 「日本の地方自治体における再生可能エネルギーに対する取り組みの現状と課題」『サステナビリティ研究』6:57-70.
- ・山田定市, 1999, 『農と食の経済と協同 地域づくりと主体形成』日本経済評論社.
- ・山本建設, 2016, 「平成 28 年度 稚内市における自然冷熱エネルギーへの取り組みについて」.
- ・山本航, 2012, 『電気は誰がつくるのか 再生可能エネルギーの現場』機関紙連合通信社.
- ・勇知農業協同組合, 1959=1994, 『勇知地区開拓史』.
- ・用地ジャーナル編集部, 2013, 「オホーツク海にのぞむ豊かな自然を生かし限りなく伸びゆく北方都市 北海道浜頓別町」『用地ジャーナル』22(4):24-29.
- ・除本理史／大島堅一／上園昌武, 2010, 『環境の政治社会学』ミネルヴァ書房.
- ・横田耕一, 2002, 「北海道稚内市における風力発電事業への取り組みと今後」『資源環境対策』38(4):5-9.
- ・吉田敬一, 2009, 「地域資源を活かした内需型産業振興と地域再生政策」『季刊自治と分権』37:100-112.
- ・吉田文和, 2011, 『グリーン・エコノミー 脱原発と温暖化対策の経済学』中公新書.
- ・吉田文和, 2012, 『脱原発時代の北海道 これからのエネルギーの話をしよう』北海道新聞社.
- ・米沢和彦, 2002, 「地域自治体行政と地域活性化 —『まちづくり』『まちおこし』の系譜と展望」, 木下謙治／篠原隆弘／三浦典子編, 『シリーズ〔社会学の現在〕2 地域社会学の現在』ミネルヴァ書房, pp.238-251.
- ・ラウパッハ・スミヤ ヨーク, 2015, 「ドイツの再生可能エネルギー政策 特にメタン発酵を中心に」『環境技術』44(8):426-433.
- ・ラウパッハ・スミヤ ヨーク／中山琢夫, 2015, 「再生可能エネルギーが日本の地域にもたら

- す経済効果 電源ごとの産業連鎖分析を用いた資産モデル」『立命館大学イノベーション・マネジメント研究センターディスカッションペーパー』25.
- ・利尻町，2009，『第5次利尻町総合振興計画 平成21年度-平成30年度』.
 - ・若尾祐司／本田宏編，2012，『反核から脱原発へ ドイツとヨーロッパ諸国の選択』昭和堂.
 - ・若森みどり，2011，『カール・ポランニー 市場社会・民主主義・人間の自由』NTT出版.
 - ・協坂紀行，2012，『欧州のエネルギーシフト』岩波新書.
 - ・和田幸子，2010，『再生可能エネルギー“先進国”インド 知られざる巨大市場の素顔』日報出版.
 - ・和田武／田浦健朗編，2007，『市民・地域が進める地球温暖化防止』学芸出版社.
 - ・和田武／木村啓二，2011，『拡大する世界の再生可能エネルギー 脱原発時代の到来』世界思想社.
 - ・渡邊斉志，2005，「ドイツの再生可能エネルギー法」『外国の立法』225:61-68.
 - ・稚内市，1995-2015，『稚内市議会会議録』.
 - ・稚内市，1998，『稚内市新エネルギー導入促進計画策定調査報告書』.
 - ・稚内市，1999，『稚内市新エネルギー導入促進計画計画書』.
 - ・稚内市，2001，『稚内市地域省エネルギービジョン推進計画書』.
 - ・稚内市，2006，『稚内市環境基本計画』.
 - ・稚内市，2009，『第4次稚内市総合計画 人が行き交う環境都市わっかない』.
 - ・稚内市，2014，「稚内市における新・省エネルギーの取組みについて」.
 - ・稚内市，2009-2014，「稚内の漁業」(各年度).
 - ・稚内市建設産業部港湾課，2014，「第3回稚内港長期構想計画委員会及び稚内港港湾計画改定について」『港のたより』109:5-6.
 - ・稚内新エネルギー研究会，2006a，「稚内公園新エネルギーサテライトで地球にやさしい自分になろう」.
 - ・稚内新エネルギー研究会，2006b，『YEARBOOK2005』.
 - ・稚内新エネルギー研究会，2007，『YEARBOOK2006』.
 - ・稚内新エネルギー研究会，2008a，『平成19年度 「環境と経済の好循環のまちモデル事業」報告書』.
 - ・稚内新エネルギー研究会，2008b，『YEARBOOK2007』.
 - ・稚内新エネルギー研究会編，2005，『レラヴィわっかない vol.1』.
 - ・稚内新エネルギー研究会編，2006，『レラヴィわっかない vol.2』.
 - ・稚内新エネルギー研究会編，2008，『レラヴィわっかない vol.3』.
 - ・稚内新エネルギー研究会／まちづくり協議会／地球温暖化対策地域協議会，2006，「稚内公園新エネルギーサテライト」.
 - ・稚内市水道部，2011，「風の力で安全な水を安定供給 浄水場動力費を削減、余剰電力を売電」『水道公論』47(12):32-35.

- ・ 稚内市総務部地域振興課まちづくり・環境グループ, 2012, 「稚内メガソーラー発電所と稚内市次世代エネルギーパーク 人と地球にやさしい環境都市を目指して」『産業と環境』41(3):41-44.
- ・ 稚内の環境を活かしたまちづくり協議会, 2010, 「平成 21 年度国土交通省建設業と地域の元気回復助成事業 稚内の環境を活かした最先端のまちづくり」.
- ・ 稚内北星学園大学佐々木ゼミ／鈴木ゼミ編, 2004, 『レラタウンわっかない 風のまち稚内』稚内新エネルギー研究会.
- ・ 稚内北星学園大学, 2004, 「わっふるん 稚内をもっと知りたい人のための情報誌 No.2」稚内新エネルギー研究会.
- ・ わっかない勇知いも研究会, 2016, 『「勇知いも」の取り組み』.
- ・ Beck, U., 1986, *Risikogesellschaft Auf dem Weg in eine andere Moderne*, Suhrkamp. (=東廉／伊藤美登里訳, 1998, 『危険社会 新しい近代への道』法政大学出版局).
- ・ Beck, U., 1997, *Weltrisikogesellschaft: Weltoffenheit und Globale Subpolitik*, Wien: Picus Verlag. (=島村賢一訳, 2003, 「世界リスク社会、世界公共性、グローバルなサブ政治」『世界リスク社会論 テロ、戦争、自然破壊』平凡社, pp.19-63)
- ・ Beck, U., 2002, *Das Schweigen der Worte: Über Terror und Krieg*, Suhrkamp, Frankfurt a. M. (=島村賢一訳, 2003, 『世界リスク社会論 テロ、戦争、自然破壊』平凡社, pp.65-141)
- ・ Beck, U., Giddens, A., and Lash, S., 1994, *Reflexive Modernization: Politics, Tradition and Aesthetics in the Modern Social Order*, Cambridge: Polity Press. (=松尾精文／小幡正敏／叶堂隆三訳, 1997, 『再帰的近代化 近現代における政治、伝統、美的原理』而立書房).
- ・ Bell, D., 1973, *The Coming of Post-Industrial Society*, New York: Basic Books. (=内田忠夫／嘉治元郎／城塚登／馬場修一／村上泰亮／谷嶋喬四朗訳, 1975, 『脱工業社会の到来【上・下】』ダイヤモンド社).
- ・ Daly, H.E., 1996, *Beyond Growth: The Economics of Sustainable Development*, Boston: Beacon Press. (=新田功／蔵本忍／大森正之訳, 2005, 『持続可能な発展の経済学』みすず書房).
- ・ Dickson, D., 1974, *Alternative Technology and the Politics of Technical Change*, William Collins Sons Co. Ltd.. (=田窪雅文訳, 1980, 『オルターナティブ・テクノロジー 技術変革の政治学』時事通信社).
- ・ Dobson, A., 1990=1995, *Green Political Thought (2nd edition)*, London: Unwin Hyman,. (松野弘監訳／来栖聡／池田寛二／丸山正次訳, 2001, 『緑の政治思想 エコロジズムと社会変革の理論』ミネルヴァ書房).
- ・ Florida, R., 2002, *The Rise of the Creative Class*, New York: Basic Books. (=井口典夫訳, 2008, 『クリエイティブ資本論 ^{クリエイティブ・クラス} 新たな経済階級の台頭』ダイヤモンド社).
- ・ Florida, R., 2005, *Cities and the Creative Class*, Routledge. (=小長谷一之訳, 2010, 『クリ

エイティブ都市経済論 地域活性化の条件』日本評論社).

- Florida, R., 2010, *The Great Reset: How New Ways of Living and Working Drive Post-Crash Prosperity*, Harper Collins. (=仙名紀訳, 2011, 『グレート・リセット 新しい経済と社会は大不況から生まれる』早川書房).
- Fromm, E., *The Revolution of Hope: Toward a Humanized Technology*, Harper & Row. (=作田啓一／佐野哲郎訳, 1970, 『希望の革命』紀伊國屋書店)
- Garbraith, J.K., 1967, *The New Industrial State*, Boston, Houghton Mifflin Company. (=都留重人監訳, 1968, 『新しい産業国家』河出書房).
- Geertz, C., 1963, *Agricultural Involution: The Processes of Ecological Change in Indonesia*, Berkeley: University of California Press. (=池本幸生訳, 2001, 『インボリユーション 内に向かう発展』NTT 出版).
- Geertz, C., 1984, Culture and Social Change: The Indonesian Case, *MAN(New series)*19(4). (=池本幸生訳, 2001, 「文化と社会変容 インドネシアのケース」, 『インボリユーション 内に向かう発展』NTT 出版, pp.193-221).
- Harbermas, J., 1968, *Technik und Wissenschaft als >Ideologie<*, Frankfurt: Suhrkamp Verlag. (=長谷川宏訳, 1970=2000, 『イデオロギーとしての科学技術』平凡社ライブラリー).
- Hirschman, A.O., 1984, *Getting Ahead Collectively: Grassroots Experiences in Latin America*, New York: Pergamon Press Inc.. (=矢野修一／宮田剛志／武井泉訳, 2008, 『連帯経済の可能性 ラテンアメリカにおける草の根の経験』法政大学出版局).
- Humphery, C.R., & Buttel, F.H., 1982, *Envirionment, Energy, and Society*, Wadsworth Publishing Co., California, USA (=満田久義／寺田良一／三浦耕吉郎／安立清史訳, 1991, 『環境・エネルギー・社会』ミネルヴァ書房).
- Kapp, W., 1950, *The Social Costs of Private Enterprise*, Cambridge: Harvard University Press. (=篠原泰三訳, 1959, 『私的企業と社会的費用』岩波書店).
- Kassiola, J.J., 1990, *The Death of Industrial Civilization: The Limits to Economic Growth and the Repoliticization of Advanced Industrial Society*, NewYork: State University of NewYork. (=岡村龍輝／帯谷博明／孫榮振／所伸之, 2014, 『産業文明の死 経済成長の限界と先進産業社会の再政治化』ミネルヴァ書房).
- Kaufmann, F.X., 2005, *Schrumpfende Gesekkschaft vom Bevölkerungsrückgang und Seinen Folgen*, Frankfurt am Main: Suhrkamp Verlag. (=原俊彦／魚住明代訳, 2011, 『縮減する社会 人口減少とその帰結』原書房).
- Lovins, A.B., 1977, *Soft Energy Paths: Toward a Durable Peace*, USA: The Friends of Earth Inc.. (=室田泰弘／槌屋治紀訳, 1979, 『ソフト・エネルギー・パス 永続的平和への道』時事通信社).
- Lovins, A.B. and Rocky Mountain Institute, 2011, *Reinventing Fire*, White River Junction: Chelsea Green Publishing. (=山藤泰訳, 2012, 『新しい火の創造 エネルギーの不安から

世界を解放するビジネスの力』ダイヤモンド社).

- Marcuse, H., 1971, *One-Dimensional Man: Studies in the Ideology of Advanced Industrial Society*, Boston: Beacon Press. (=生松敬三／三沢謙一訳, 1980, 『一次元的人間 先進産業社会におけるイデオロギーの研究』河出書房新社).
- Norgard, J.S. & Christensen B.L., *Energihusholdning Husholdning Hordning, Forfatterne og FDB*, Copenhagen, Denmark. (=飯田哲也訳, 2002, 『エネルギーと私たちの社会 デンマークに学ぶ成熟社会』新評論).
- Polanyi, K., 1944=2001, *The Great Transformation: The Political and Economic Origins of Our Time*, Boston: Beacon Press. (=野口建彦／栖原学訳, 2009, 『〔新訳〕大転換 市場社会の形成と崩壊』東洋経済新報社).
- Polanyi, M., 1967, *The Tacit Dimension*, Routledge & Kegan Paul PLC. (=高橋勇夫訳, 2003, 『暗黙知の次元』ちくま学芸文庫).
- Porter, M., 1998, *On Competition*, Boston: Harvard Business School Press. (=竹内弘高訳, 1999, 『競争戦略論 I・II』ダイヤモンド社).
- Porter, M., 1998, Clusters and the New Economics of Competition, *Harvard Business Review* 76(6). (=沢崎冬日訳, 1999, 「クラスターが生むグローバル時代の競争優位 イノベーション創出のメカニズムを学ぶ」『Diamond ハーバード・ビジネス』24(2):28-45)
- Rouse, J., 1987, *Knowledge and Power: Toward the Philosophy of Science*, Cornell University Press. (=成定薫／網谷祐一／阿曾沼明裕訳, 2000, 『知識と権力 クーン／ハイデッガー／フーコー』法政大学出版局).
- Schumacher, E.F., 1973, *Small is Beautiful: A Study of Economics as if People Mattered*. (=小島慶三／酒井懋訳, 1986, 『スモール イズ ビューティフル 人間中心の経済学』講談社学術文庫).
- Wackernagel, M. and W.E. Rees, 1996, *Our Ecological Footprint: Reducing Human Impact on the Earth*, Gabriola Island, British Columbia: New Society Publishers. (=和田喜彦監訳／池田真里訳, 2004, 『エコロジカル・フットプリント 地球環境持続のための実践プランニング・ツール』合同出版).
- Wall, D., 2010, *The No-Nonsense Guide to Green Politics*, New Internationalist Publications Ltd.. (=白井和宏訳, 2011, 『緑の政治ガイドブック 公正で持続可能な社会をつくる』ちくま新書).

< 参照 HP >

- 「【付属書 A (参考)】 IEC 規格による風力発電機的设计条件」(NEDOHP 内):

<http://www.nedo.go.jp/content/100107253.pdf>

- ISEP (環境エネルギー政策研究所) HP : <http://www.isep.or.jp/>

- ・ ITMediaHP : <http://www.itmedia.co.jp/>
- ・「悪魔の見える手」(yahoo blog) : <http://blogs.yahoo.co.jp/carib7777/24604332.html>
- ・ イーレックス HP : <http://www.erex.co.jp/>
- ・ ウィンドコネクト (WINCON) HP : <http://wincon.jp/>
- ・「永続地帯 2015 年度版報告書」(ISEPHP 内) : <http://www.isep.or.jp/library/9330>
- ・ (有)エコハート HP : <http://www.ecoheart.com/>
- ・ エコ・パワーHP : <https://www.eco-power.co.jp/>
- ・ SB エナジーHP : <http://www.sbenergy.co.jp/>
- ・ 小樽ジャーナル HP : <http://otaru-journal.com/2012/02/0201-1.php>
- ・ 音威子府村 HP : <http://www.vill.otoinneppu.hokkaido.jp/>
- ・ 音威子府村商工会 HP : <http://ec.shokokai.or.jp/cmsdb/cm06010/index/?ken=01&block=C6>
- ・ 小平町 HP : www.town.obira.hokkaido.jp
- ・「小平オンネ風力発電所について」(北海道庁 HP 内) :
www.pref.hokkaido.lg.jp/kg/htd/fu_ryoku.htm
- ・「各電源の諸元一覧(案)」(資源エネルギー庁 HP 内) :
http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/cost_wg/006/pdf/006_06.pdf
- ・ 霞が関政策総研 blog : http://blog.livedoor.jp/kasumigaseki_soken/
- ・「雷を知る基礎知識」(サンコーシャ HP 内) : http://www.sankosha.co.jp/how_to/
- ・ 環境影響評価情報支援ネットワーク (環境省 HP) :
<http://www.env.go.jp/policy/assess/4-1report/>
- ・ 環境省 HP : <http://www.env.go.jp/>
- ・ 環境ビジネスオンライン : <http://www.kankyo-business.jp/>
- ・ 寒地港湾技術研究センターHP : <http://www.kanchi.or.jp/>
- ・ 気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ キタカラ HP : <http://www.kitacolor.com/>
- ・「北のハイグレード食品について」(北海道庁 HP 内)
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/hg.htm>
- ・ 京都府 HP http://www.pref.kyoto.jp/koei/denki_50.html
- ・ 工藤篤 獅子吼ノート <http://wing14.exblog.jp/11095481>
- ・ 経済産業省 HP : <http://www.meti.go.jp/>
- ・ クリーンエネルギーファクトリー (CEF) HP : <http://www.cef.co.jp/index.html>
- ・「クルマとエネルギーと地球の未来と…」(yahoo blog) :
http://blogs.yahoo.co.jp/zaqwsx_29/30093079.html
- ・「JWPA News グローバルウインドデー 北海道から九州まで全国 10 ヶ所でイベント開催」:
http://jwpa.jp/2011_pdf/92-03windday.pdf

- ・原子力環境整備促進・資金管理センターHP : <http://www.rwmc.or.jp/>
- ・原子力百科事典 ATOMICA(高度情報科学技術研究機構 HP 内) : <http://www.rist.or.jp/atomica/>
- ・札幌商工会議所 HP : <https://www.sapporo-cci.or.jp/>
- ・猿払村 HP : <http://www.vill.sarufutsu.hokkaido.jp/>
- ・サンコーシャ HP : <http://www.sankosha.co.jp/>
- ・CEF オロロンウインドファーム HP : www.cef.co.jp/about/wind_ororon/index.html
- ・「シェール革命はどこが革命的で、なぜ巨額の損失をだしてしまうのか？」(BLOGOS : 2014.10.5) : <http://blogos.com/article/95947/>
- ・JFE エンジニアリング HP : www.jfe-eng.co.jp
- ・JA 南るもい HP : <http://ja-minamirumoi.or.jp/>
- ・J-Power (電源開発) HP : <http://www.jpowers.co.jp/index.html>
- ・資源エネルギー庁 HP : <http://www.enecho.meti.go.jp/>
- ・自然エネルギー研究センター (NERC) HP : <http://www.nerc.co.jp/wp/>
- ・自然エネルギー市民ファンド HP : <http://www.greenfund.jp/>
- ・しなやかな技術研究会 HP : <http://greenpost.way-nifty.com/>
- ・市民エネルギー研究所 HP : <http://www.priee.org/>
- ・「省エネルギー・新エネルギー関連助成制度一覧」(北海道庁 HP 内) :
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene/jhoseiseidoichiran.htm>
- ・新エネルギー財団 HP : <http://www.nef.or.jp/>
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) HP : <http://www.nedo.go.jp/>
- ・新エネルギー導入促進協議会 HP : <http://www.nepc.or.jp/>
- ・スマートジャパン HP : <http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/>
- ・全国自然保護連合 HP : <http://www006.upp.so-net.ne.jp/junc/hokoku0116.html>
- ・「大同まもるの雑記帳」(blog) : http://iezukuridaidou.blogspot.jp/2012/11/blog-post_8910.html
- ・太陽光発電協会 (JPEA) HP : <http://www.jpea.gr.jp/knowledge/whynow/index.html>
- ・「地域団体商標制度」(特許庁 HP 内) :
https://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/t_torikumi/t_dantai_syouhyou.htm
- ・蓄電池バンク HP : <http://batterybank.jp/basic/apply.php>
- ・地層処分実規模試験施設 : <http://fullscaledemo.rwmc.or.jp/information/access.html>
- ・中部電力 HP : <http://www.chuden.co.jp/index.html?cid=lg>
- ・「長期エネルギー需給見通し小委員会に対する 発電コスト等の検証に関する報告 (案)」 :
http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/cost_wg/006/pdf/006_05.pdf
- ・低炭素投資促進機構 (GIO) HP : http://www.teitanso.or.jp/sc_top
- ・「電気事業法施行規則の一部を改正する省令」 :
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2012/10/241001-1-

1.pdf

- ・ 電源開発 HP : <http://www.jpower.co.jp/>
- ・ 東京電力 HP : <http://www.tepco.co.jp/index-j.html>
- ・ 苫前グリーンヒルウインドパーク 11 号風車破損事故について【最終報告概要】(経済産業省) :
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2013/11/251115-1-3.pdf
- ・ 苫前グリーンヒルウインドパーク 11 号風車破損事故報告【中間報告】(ユーラスエナジー)
<http://www.eurus-energy.com/common/images/press/uploads/files/20131004.pdf>
- ・ 苫前町 HP : <http://www.town.tomamae.lg.jp/category/lg6iib0000000k0k.html#i1>
- ・ 苫前町まちおこし対策推進協議会 (北海道開発局 HP 内) :
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/contest/01/scene/k_37/index.html
- ・ 日経トレンドィネット : <http://trendy.nikkeibp.co.jp/>
- ・ 日経ビジネス HP : <http://business.nikkeibp.co.jp/>
- ・ 日本いも類研究会 HP : <http://www.jrt.gr.jp/>
- ・ 日本原子力研究開発機構 (JAEA) HP : <http://www.jaea.go.jp/>
- ・ 日本原子力産業協会 HP : <http://www.jaif.or.jp/>
- ・ 日本原子力発電 HP : <http://www.japc.co.jp/>
- ・ 日本風力発電協会 (JWPA) HP : <http://jwpa.jp/>
- ・ ニューズウィーク日本版 HP : <http://www.newsweekjapan.jp/>
- ・ 農畜産業振興機構 HP : <http://www.alic.go.jp/>
- ・ 農林水産省 HP「わがマチ・わがムラ 市町村の姿」: <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>
- ・ 浜頓別町 HP : <http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/index.phtml>
- ・ 東伊豆町風力発電所 HP :
http://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/bg/furyoku/cat/159_gaiyo.html
- ・ 「バイオマス産業都市の取組」(農林水産省 HP) :
<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/160518.html>
- ・ 北海道建設新聞社 HP : <http://e-kensin.net/>
- ・ 北方ジャーナル公式 blog : <http://hoppojournal.sapolog.com/e346079.html>
- ・ 「風力発電事業における現状と課題」(自治労北海道本部／苫前町職員組合) :
http://www.jichiro.gr.jp/jichiken_kako/report/rep_gunma30/jichiken/5/17.htm
- ・ 「風力発電を活用したグリーン水素製造事業等について」(北海道開発局 HP 内) :
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_kankyo/suisotikidukuri/pdf/01_04.pdf
- ・ 北海道開発局 HP : <http://www.hkd.mlit.go.jp/>
- ・ 北海道クリーン農業推進協議会 HP : <http://www.yesclean.jp/>
- ・ 北海道経済産業局 HP : <http://www.hkd.meti.go.jp/>
- ・ 幌延深地層研究センターHP : www.jaea.go.jp/04/horonobe/

- ・ 幌延深地層研究センターゆめ地層館（JAEAHP 内）：
<http://www.jaea.go.jp/04/horonobe/yumechisoukan/index.html>
- ・ 北海道新聞データベース：<http://www.hokkaido-np.co.jp/>
- ・ 北海道庁 HP：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 「北海道で一番小さな村の挑戦『村立北海道おといねっふ美術工芸高校と共に生きる』 北海道音威子府村長佐近勝」（47NewsHP 内）：
<http://www.47news.jp/localnews/furusato/2012/09/14152304.php>
- ・ 北海道電力 HP：<http://www.hepco.co.jp/index.html>
- ・ 「北海道フードマイスター検定」（札幌商工会議所 HP 内）：
<https://www.sapporo-cci.or.jp/food/kentei.html>
- ・ 北海道 likersHP：<http://www.hokkaidolikers.com/>
- ・ 幌延地圏環境研究所 HP：<http://www.h-rise.jp/>
- ・ 幌延町 HP：www.town.horonobe.hokkaido.jp/
- ・ ほろのベトナカイ観光牧場 HP：tonakai-farm.com
- ・ 三菱重工 HP：<https://www.mhi.co.jp/>
- ・ 三津橋産業 HP：<http://www.mlcmitsuhashi.co.jp/mlc/overview/overview.html>
- ・ 安岡沖洋上風力発電建設に反対する会 HP：
<http://www.yasuoka-wind.com/%E9%A2%A8%E8%BB%8A%E8%A2%AB%E5%AE%B3/>
- ・ ヤンマーアグリジャパン北海道カンパニーHP：
https://www.yanmar.com/jp/about/company/yaj_hokkaido/
- ・ 「勇知いも」（楽天市場 HP 内）：<http://item.rakuten.co.jp/kassai/c/0000000226/>
- ・ 悠遊ファーム HP：<http://p.yuuyuufarm.com/>
- ・ ユーラスエナジーHP：<http://www.eurus-energy.com/>
- ・ 「離島用風車から大型ダウンウィンド風車へ」（NEDOHP 内）：
<http://www.nedo.go.jp/hyokabu/articles/201002fujijyuukou/index.html>
- ・ 留萌振興局 HP：www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp
- ・ 稚内港港湾計画 改訂（国土交通省 HP）：<https://www.mlit.go.jp/common/001031731.pdf>
- ・ 稚内市バイオエネルギーセンター概要（稚内市 HP 内・PDF）：
<https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/files/00003000/00003076/jigyogaiyo.pdf>
- ・ 稚内市 HP：<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/>
- ・ 稚内新エネルギー研究会 HP：<http://www.rera-vie.jp/>
- ・ 稚内ブランド HP：<http://www.wakkanai-brand.jp/>
- ・ 稚内プレス HP：<http://wakkanaipress.com/>